

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 剰余金の配当 毎年3月31日 (当社は中間配当制度を採用しておりません。) 上記のほか必要と認めたときは、あらかじめ公告いたします。
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031(フリーダイヤル)
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 アドレスは、 https://www.aiyon.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

株主優待のご案内



権利確定日	保有株式数	内容
2019年 3月31日	100株以上	クオ・カード 1,000円分
	200株以上	クオ・カード 2,000円分
	500株以上	クオ・カード 3,000円分

OKADA Report

第60期 株主レポート

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日

ごあいさつ



代表取締役会長
かんだしゆき
荻田 俊幸

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、相次ぐ自然災害により一時的に影響を受けたものの、その後持ち直し、企業収益や雇用所得環境は概ね堅調に推移し、緩やかな回復基調が持続いたしました。また、世界経済は年度前半には先進国を中心に回復傾向を持続しましたが、米中通商問題や、英国EU離脱問題の混迷、また、米国長短金利逆転による市場の動揺等の影響もあり、年度後半から中国・欧州等で減速傾向となる等、先行き不透明な状況が続きました。

このような環境のもとで当社グループは、主力製品の圧碎機、油圧ブレーカ等の解体用アタッチメント、林業機械、環境関連機器等の販売に注力いたしました結果、当連結会計年度の業績は、売上高17,866百万円(前年同期比16.0%増)、営業利益1,524百万円(前年同期比27.5%増)、経常利益1,560百万円(前年同期比22.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,000百万円(前年同期比50.2%増)と、9期連続の増収を達成し、過去最高売上・最高利益を更新することができました。

引き続き、全グループ会社一丸となり目標達成に向けて鋭意努力を重ねてまいります所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
おかだゆうじ
岡田 祐司

トップメッセージ

Q | 2019年4月1日付で代表取締役社長に就任されました

就任にあたって、武田信玄の名言「人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、仇は敵なり」を引用し、私の考え方を社員に伝えました。人の力、人の結束力がないと強固な城も機能しません。会社経営も同じで社員の個性を活かし、能力を十分に発揮してもらうために働く社員一人ひとりを思い、働きやすい環境づくりを進めることが、経営者として重要な課題だと考えています。

従業員を大切にしつつ、12年に亘って社長を務められた荻田会長がこれまでに築いた成長の勢いを一層加速させていきたいと考えています。

Q | 当社を取り巻くマーケット環境はいかがでしょうか？

コンクリートの寿命が約50年から60年と言われるところ、

高度成長期に建設されたコンクリート建造物、道路、橋などの建て替え時期がまもなくやってきます。また、東京オリンピック・パラリンピック関連の解体需要に続いて、統合型カジノリゾート案件や2025年大阪・関西万博前後の解体需要も発生すると思われ、当社にとって大きな追い風が吹いていると考えています。

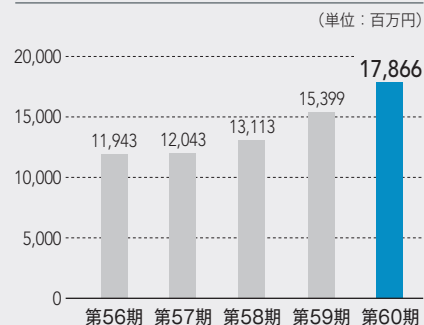
Q | 具体的な施策をどのようにお考えですか？

製造能力と修理体制の強化、人材確保と教育、業務の効率化と自動化、更に業界内に留まらないブランド力向上が必要になると考えています。

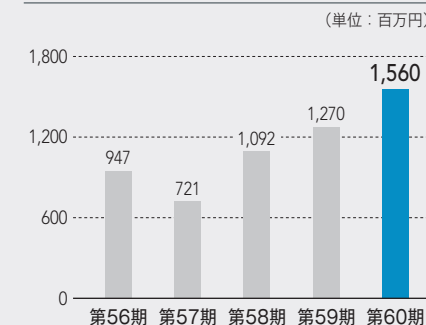
そこで、グループ会社の製造・組立体制の見直しと活用、指定サービス工場の設定強化、工場及び営業所設備の増強化・リニューアル、年間を通じた採用活動の実施とキャリア形成に向けた研修制度の拡充、販売管理システム等のフルリニューアル等に取り組みます。

財務ハイライト

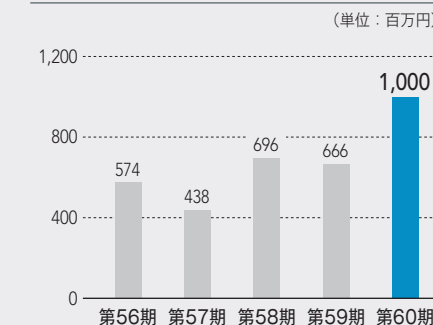
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



Q | 事業領域拡大に向けた設備投資計画は如何でしょうか？

人手不足の問題は解体業・林業にも押し寄せています。働き手が少なくなると、工数を削減するために超大型機で一気に解体を行う必要があるところ、修理対応が可能な工場はほとんどありませんでした。

そこで昨年春には子会社工場設備を拡張し、東日本エリアの超大型機修理対応を可能にしました。また、西日本の対応力も強化するため、本社工場の建て替え工事を行いました。大型機のオフィシャルリペアをアピールポイントにして、販売台数増を狙います。

また、これまで老朽化した営業所の工場建て替え・移転を順次進めてきましたが、今後も営業所への設備投資を加速させます。具体的には2020年度中に横浜営業所・四国営業所の移転新築等を予定しています。

Q | 海外展開についてはいかがでしょうか？

海外において今後も販売比率を伸ばしていくことは、当社の事業全体を拡大する上で必須だと考えています。

北米は当社の海外販売比率で約70%を占めていますが、支店開設・営業担当者増員が功を奏し、好調な売れ行きが続いています。2016年にテキサス支店を開設したことで、好況な北米南部顧客への緻密なサービス提供が可能になりましたが、今後もパイプライン工事関連の需要等をしっかりと取り込み、更なる販売増を目指します。

また、商品の摩耗が避けられない当社の機械は、定期的

な修理が欠かせません。

販売増を狙うと共に国内同等のサービスを提供するため、現地法人を置いていない諸外国では、販売代理店を設定してメンテナンス技術の指導を行ってきました。

欧州では、販売代理店設定だけでなく、納期短縮を目指して販売用倉庫を拡充し、戦略モデルの投入・オランダ駐在員事務所を開設して顧客サポートの充実を図った結果、売上はこの数年で約5倍に増加しました。今後も環境意識の高い欧州では、ますます当社製品が活躍する環境があると見ており、今年10月を目処にオランダ駐在員事務所を現地法人化する予定です。

アジアに対しては、数年前から東南アジアの現地有力ユーザーを中心に地道な開拓を行いつつ、現地ニーズに沿って機能を絞った価格競争力のある商品を投入した結果、当社海外売上比率のうち約20%以上を占めるに至りました。この勢いに乗ってタイにも今年6月駐在員事務所を開設し、早期に現地法人化を目指したいと考えています。

Q | 最後に株主の皆様へメッセージをお願いします

2015年度からスタートした中長期経営計画「アーチ2020作戦」も、残すところあと2年となりました。実現に向けて社員一丸となって取り組んでまいりましたが、最後まで力強く前進してまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

新会長・新社長 就任のご案内

2019年4月1日をもちまして、今後の事業領域拡大を見据え、更なる経営管理体制の強化を目的として、当社代表取締役は下記の通り就任いたしましたので、ご案内申し上げます。

代表取締役会長 荻田 俊幸 (前 代表取締役社長)

代表取締役社長 岡田 祐司 (前 常務取締役)

役員・従業員一同、心を一つにして社業発展に努めてまいりますので、変わらぬご高配ならびにご支援賜りますようお願い申し上げます。

新会長就任ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り有り難く厚く御礼申し上げます。さて私儀、2019年4月1日をもちまして代表取締役会長に就任いたしました。社長在任中に賜りました格別のご厚情に対し心より厚く御礼申し上げますと共に、引き続き変わらぬご厚誼を賜りますよう、お願い申し上げます。尚、後任社長には前常務取締役の岡田祐司が就任いたしましたので、お引き立て賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長 **荻田 俊幸**



新社長就任ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて私儀、このたび荻田俊幸の後任として代表取締役社長に就任いたしました。オカダアイヨン創業80周年、また令和元年の節目の重要な年に、大任を拝命し身の引き締まる思いですが、今後とも役員・従業員が一枚岩となって社業発展のため専心努力いたす所存でございますので、尚一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

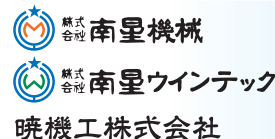
代表取締役社長 **岡田 祐司**



01 南星機械グループ3社を合併

2017年10月、株式会社南星機械、株式会社南星ウインテック及び暁機工株式会社を子会社化し、生産体制と商品ラインアップの強化を図ってまいりました。

オカダイオングループの戦略的基盤として更なる企業価値向上を図っていくため、2019年4月1日、上記3社につき株式会社南星機械を存続会社とする吸収合併を行いました。



1948年の創業から約70年、3社合併を機に今後「オカダNANSEI」のブランドで林業機械・スクラップ用機械等を展開してまいります。

管理体制・人事体制の再構築や新システムへの統合による業務効率化を図り、グループの一員としてバリューチェーンの強化に寄与しつつ、高品質の商品を開発・販売してまいります。



株式会社南星機械の新カンパニーロゴ

02 大阪本社の整備工場に大型天井クレーンを導入し建替え

近年の大型施設やプラント工場の解体に伴い、当社解体用アタッチメントの大割機・小割機・鉄骨カッター・油圧ブレーカも大型化が進み、その整備修理需要に対応すべく大型天井クレーン（15トﾝ、10トﾝ）を備えた整備工場を大阪本社に新設しました。今後は当社各営業所に併設する整備工場にも大型天井クレーンの導入を順次予定しており、まずは横浜営業所と四国営業所の移転新築時に併設する整備工場へ大型天井クレーンを設置します。これからもお客様のニーズに応えられる設備投資を行い販売後のアフターマーケット需要を積極的に取り込んでまいります。



03 bauma2019に出展

4月8日(月)から14日(日)までの7日間、ドイツのミュンヘンにて開催された世界最大の建設機械展示会の「bauma2019」に出展しました。baumaの建機展は初回開催から50周年を迎えている歴史的建機展です。世界中から質の高い業界関係者が集まり商品をPRすることができます。多くの企業に参加しており出展者数は63カ国から3,700社と昨年よりも増加しています。入場者数は過去最高の620,000人が来場され、ドイツ以外にもオーストラリアやイタリア、スイスなどからも来場されていました。

当社ブースにも多くのお客様に来場していただき、商品をアピールすることができました。

今回も主力商品の圧砕機と海外仕様の油圧ブレーカを展示したところ、期間中にお客様から商品の成約に至ることもあり、大変ご好評をいただきました。今後も最大マーケットであるヨーロッパ市場の開拓を進め、販売体制を強化してまいります。

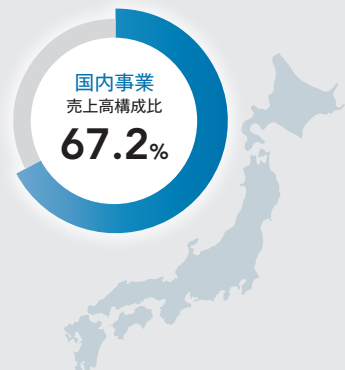


04 タイ駐在員事務所設立

東南アジアエリアは過去5年、約5%のGDP成長率を続け、今後も同等の成長率を期待できる市場です。従来は日本より出張ベースにて営業を行い、東南アジア地域での各国における販売代理店設定を行ってまいりました。駐在員事務所開設により同エリアへの現地に根付いた更なるマーケティング活動、販売代理店へのサポートを強化することで、売上拡大とシェアアップ、オカダブランド名の確立を目指してまいります。また、現地ニーズにあった商材発掘を行うことにより新たな収益源をつくり、1~2年後に法人化を目指します。



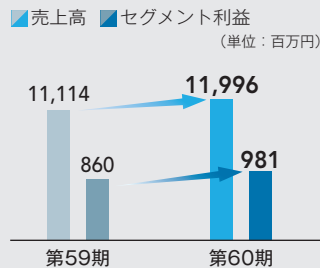
国内事業



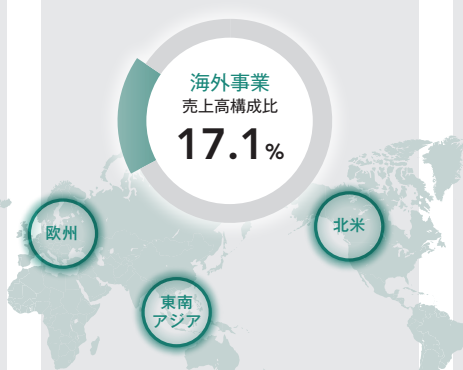
主力の圧砕機は旺盛な再開発・建替え需要を背景に生産体制の強化が寄与し、売上高は6,309百万円(前年同期比7.4%増)。環境関連機器は排ガス規制の影響が薄れ売上が回復した結果、売上高は1,402百万円(前年同期比22.3%増)。

油圧ブレーカは戦略商品の売上寄与はあったものの売上高は838百万円(前年同期比11.1%減)。

その結果、セグメント利益は981百万円(前年同期比14.0%増)。

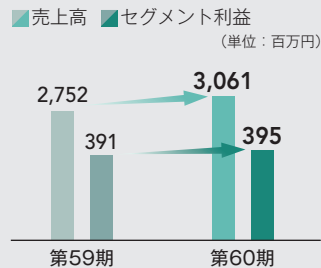


海外事業

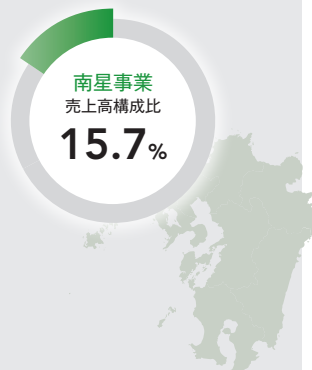


主力地域の北米で営業力を強化し、南部のパイプライン工事関連等の堅調な需要を着実に取り込んだほか、オランダ駐在員事務所を開設した欧州でも順調に販売代理店を増やす等、米欧での売上が増加し、売上高3,061百万円(前年同期比11.2%増)。

その結果、セグメント利益は395百万円(前年同期比1.1%増)。

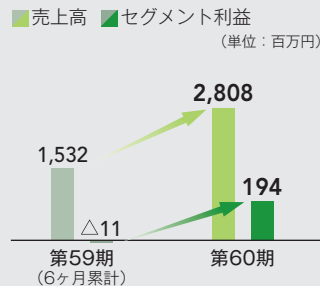


南星事業



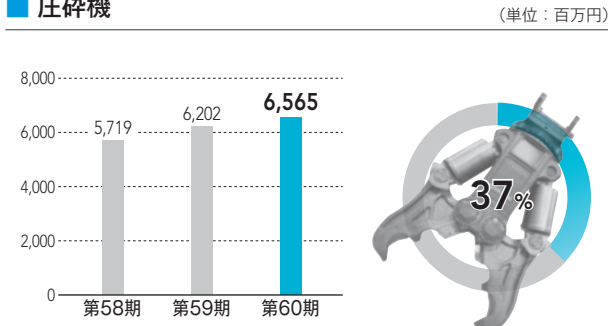
当連結会計年度から通年での連結寄与となる南星事業は、販売内容の主なもの、林業機械、金属スクラップ関連機器、ケーブルクレーン、船用クレーン等となっており、売上高2,808百万円(前年比83.2%増)。

セグメント利益は、一過性の保険費用がなくなったこと等により194百万円(前年はセグメント損失11百万円)。

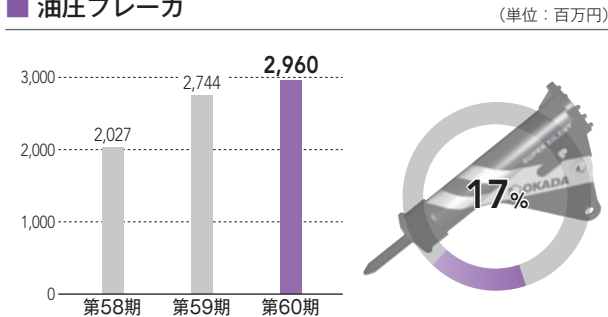


品目別売上高

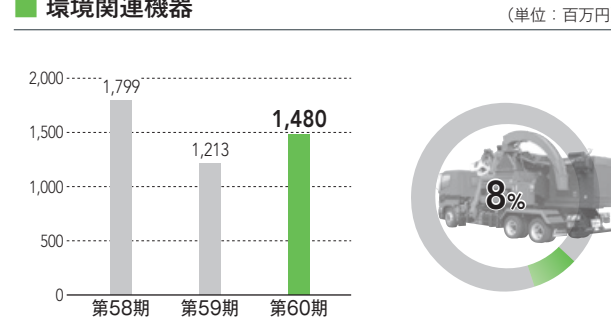
圧砕機



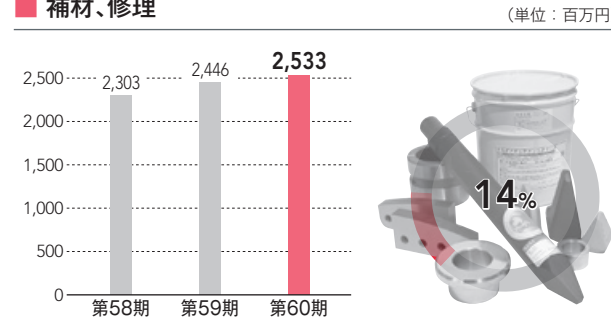
油圧ブレーカ



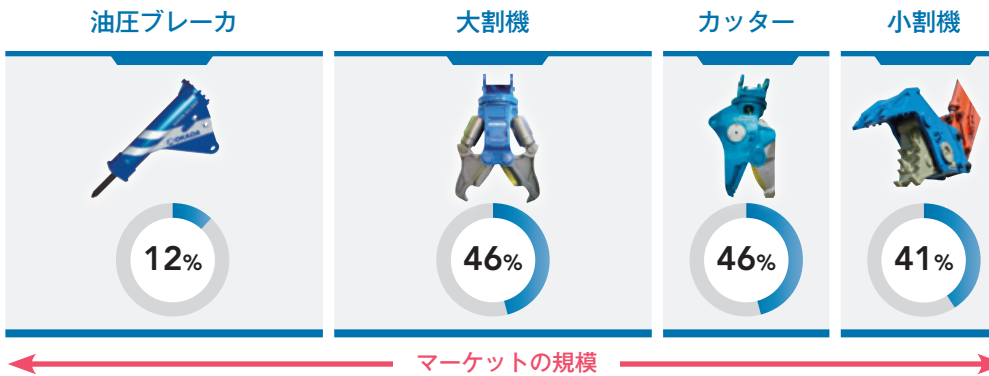
環境関連機器



補材、修理



主力解体機国内シェア状況



獲得シェア
目標**50%**

15%Up

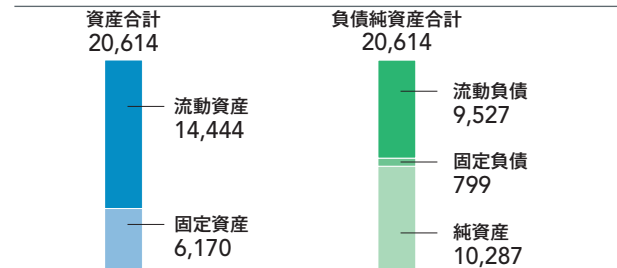
現状当社
平均シェア**35%**

※1. 円グラフは国内マーケットシェア。 ※2. 2018年度日本建設機械工業会発表資料を基に当社推定。

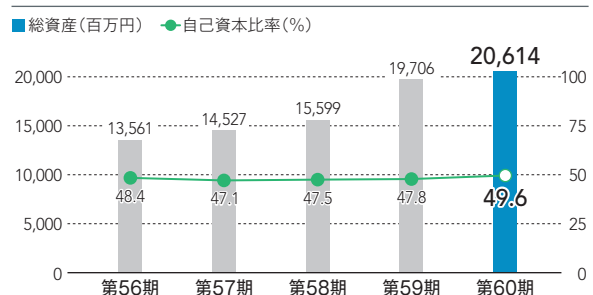
連結財務状況

当期末の資産の状況

(単位: 百万円)



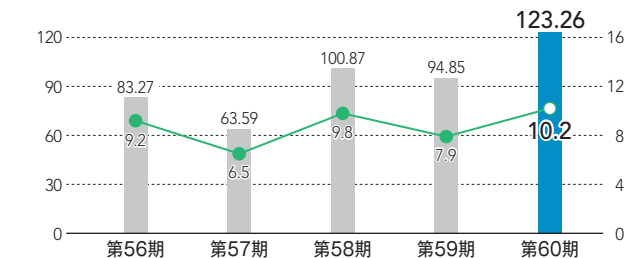
総資産/自己資本比率



1株当たり情報

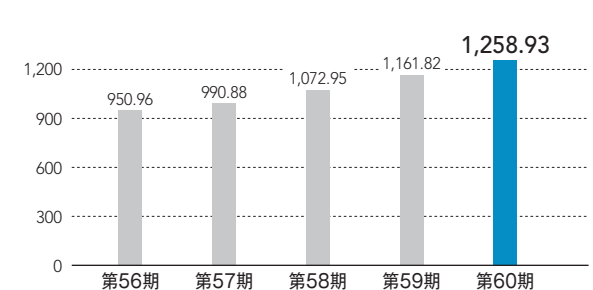
1株当たり当期純利益/ROE

1株当たり当期純利益(円) ROE(%)



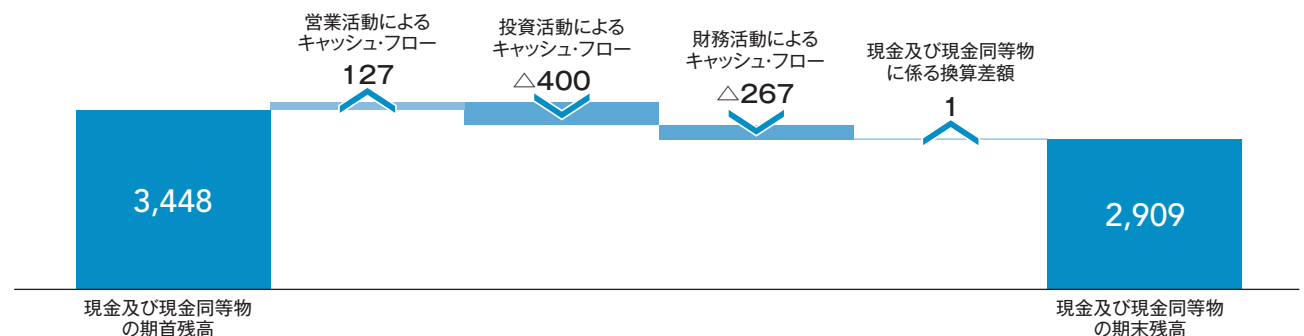
1株当たり純資産

(単位: 円)



連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)



※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要

(2019年3月31日現在)

商号 オカダアイヨン株式会社
 OKADA AIYON CORPORATION
 本社 〒552-0022
 大阪市港区海岸通四丁目1番18号
 TEL. 06-6576-1281
 設立年月日 1960年9月1日
 資本金 2,221百万円
 従業員数 194名

【主要な事業内容】

- ▶ 油圧ブレーカ TOPシリーズ、TOP-Vシリーズ
超低騒音TOP-Sシリーズ
- ▶ 圧砕機 TS-WBクラッシャー、TS-RCクラッシャー
TS-Wカッター、TS-Sカッター
コワリクン、マグネットコワリクン
- ▶ 環境関連機器 ビッグバス、ログバスター、タブグラインダー
ウッドホグ
サイレントアマダス、アイヨン与作
プラント関連機器

【主要な営業所】

東京本店・関西支店・札幌営業所・盛岡営業所・
 仙台営業所・横浜営業所・中部営業所・北陸営業所・
 広島営業所・四国営業所・九州営業所・東京オフィス・
 海外事業所・オランダ駐在員事務所

【オカダアイヨングループ】

株式会社アイヨントック・Okada America, Inc.
 株式会社南星機械・株式会社南星ウイントック
 暁機工株式会社

役員

(2019年3月31日現在)

代表取締役社長	荻田俊幸
常務取締役	岡田西
常務取締役	前折西
取締役	折尾卓
取締役	山口耕
取締役	川島照
取締役	岡本政
取締役	古田富
常勤監査役	打田幸
監査役	稲田正
監査役	中尾正
	幸司男児
	二和浩
	均生
	生毅
	孝

株式情報

(2019年3月31日現在)

発行可能株式総数 20,000,000株
 発行済株式の総数 8,378,700株
 株主数 9,775名

大株主[上位10名]

(2019年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	480,400	5.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	458,600	5.64
岡田勝彦	369,300	4.54
岡田眞一郎	348,000	4.28
極東開発工業株式会社	300,000	3.69
株式会社三井住友銀行	242,930	2.98
株式会社三菱UFJ銀行	220,000	2.70
株式会社南星	200,000	2.46
MSIP CLIENT SECURITIES	200,000	2.46
株式会社テイサク	185,000	2.27

(注) 1. 自己株式を252,615株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

配当金と配当性向の推移

配当金 配当性向

